

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 愛ほーむ

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 3 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議の参加者は多く、地域の代表が沢山参加しているため、ホームの繁栄だけではなく、地域社会にも貢献出来る会議として取り組み、参加委員にとっても、知識や情報を得る有意義な会議になるように取り組んでいく。	参加委員に地域で活動している有識者、知見者、複数の民生委員、薬剤師、元家族等に参加を要請し、ホームの課題や地域の問題などを話し合い、運営推進会議が、地域社会に貢献できる会議になるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員が多く、個性的な介護に取り組んでいるが、どの職員が対応しても、利用者や家族が満足できる介護サービスの徹底に取り組み、平等な介護が出来る体制を整えていく。	開設4年を迎え、職員全員が初心に戻り、認知症介護について職員一人ひとりが、正確な知識を得て、利用者一人ひとりに対する介護の在り方を話し合い、言葉遣いや対応に配慮した介護の実践を行い、利用者が安心して暮らせるグループホームを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。